

YOMIKO

NEWS RELEASE

2019年4月3日

株式会社読売広告社

東京都港区赤坂5丁目2番20号

ID-POS と AI カメラの活用により、 ドラッグストアの購買と非購買の行動プロセスを見える化！

『“インストア購買・行動”解析サービス』を 2019 年 4 月より提供開始

株式会社読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：藤沼大輔）は、ドラッグストア内の購買行動に関して、これまで行っていた「ID-POS データ」分析や店頭実験を中心とした独自の知見に加え、新たに「AI カメラ」を活用することでショッパーの棚前行動を捕捉しデータ化、購買・行動解析の精度をアップさせたソリューションを開発し、2019年4月からサービス提供を開始いたします。

これまで、リアル店舗において、EC サイトでは検証可能である「購買プロセス」や「非購買者の離脱プロセス」の把握など、購買者行動の実態把握が課題とされてきました。

本サービスでは、店頭に設置した AI カメラから取得した画像を、AI 姿勢解析技術とディープラーニングにより機械学習させることでデータ化。ID-POS データとの連携も図り、これまで定性的な分析が中心となっていた生活者の店頭購買行動を、データにもとづいて定量的に分析することを可能にしました。

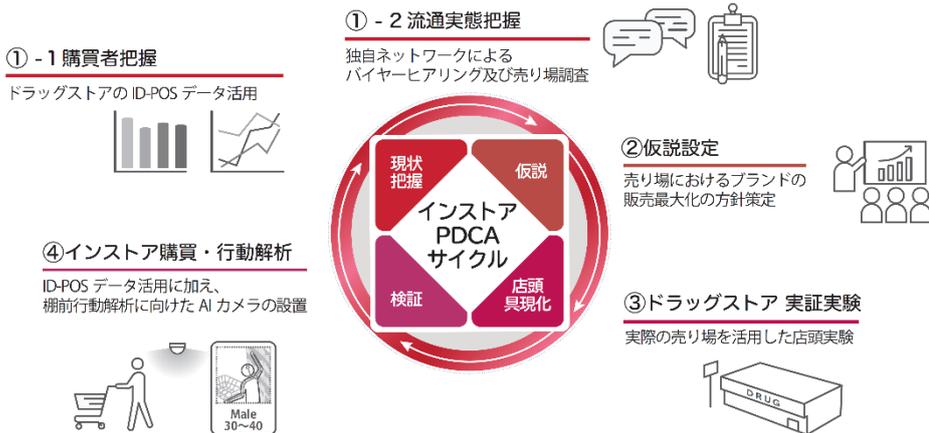
なお、本サービスの「AI カメラ」については、コニカミノルタ社の顧客行動解析サービス「Go Insight」を採用しています。

今回のソリューションサービスの提供によって、当社はさらなる“売りの完結”に向けたブランド課題の解決に貢献してまいります。

※ID-POS データ = ID 付き POS データのこと。POS データでわかる“何が、いつ、いくつ、いくらで売れたのか”の情報に加え、“誰に（売れたのか） = 誰が（買ったのか）”という情報が追加されたもの。

※AI カメラ：Go Insight = 画像から対象人物の姿勢・属性・行動を検知、ショッパー行動の見える化、定量的なデータの蓄積が可能

本サービスの全体像



<本サービスの主な活用分野>

■ 店頭マーケティングを軸とした戦略・戦術立案

ターゲット設定・ベンチマーク・打ち手の方向性等、マーケティングと購買実態とのギャップを埋める。

■ 店頭施策の販促効果を定量的に可視化

店頭ツールを中心とした販促施策の有用性・効果実態を量的に検証、購買プロセスにおける各施策の効果を見極める。

「Go Insight」の概要



会社概要

- ◇ 株式会社読売広告社
- ◇ 代表者：代表取締役社長 藤沼大輔
- ◇ 所在地：東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル
- ◇ 設立年月日：1946年7月11日
- ◇ 資本金：1,458,748,919円

お問い合わせ先

- ◆本サービス詳細について データドリブンブランニング局
インストアブランドコンサルティングルーム 塩見 03-5544-7221
- ◆本リリースについて 総務局 総務・広報部 富永、横田 03-5544-7104